

「日本における『ハムレット』」(第5回駒澤大学シェイクスピア・フォーラム、平成6年1月)

佐々木隆、松岡和子、広川治。シンポジウム「日本における『ハムレット』」の司会兼発題者となり、パネラーに松岡和子氏を迎えて、日本における『ハムレット』の上演について発表した。特に、最近の『ハムレット』上演の特徴について、翻案の問題や演劇交流の問題について論じた。また、研究と上演の関係などにも論議が及び、シェイクスピアの作品を読む作品ではなく、上演を通して理解することが、最も、シェイクスピアの本質に迫るものとして論じた。